



TACACS+ コマンド

この章は、次の項で構成されています。

- [tacacs-server host](#) (2 ページ)
- [tacacs-server host source-interface](#) (4 ページ)
- [tacacs-server host source-interface-ipv6](#) (5 ページ)
- [tacacs-server key](#) (6 ページ)
- [tacacs-server timeout](#) (7 ページ)
- [show tacacs](#) (8 ページ)
- [show tacacs key](#) (9 ページ)

tacacs-server host

TACACS+ ホストを指定するには、**tacacs-server host** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。指定した TACACS+ ホストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

```
tacacs-server host {ip-address | hostname} [single-connection] [port port-number] [timeout timeout] [key key-string] [priority priority]  
encrypted tacacs-server host {ip-address | hostname} [single-connection] [port port-number] [timeout timeout] [key encrypted-key-string] [priority priority]  
no tacacs-server host {ip-address | hostname}
```

パラメータ

- **host ip-address** : TACACS+ サーバホストの IP アドレスを指定します。IP アドレスは、IPv4、IPv6、または IPv6z アドレスを使用できます。
- **host hostname** : TACACS+ サーバホスト名を指定します。（長さ：1～158 文字、ホスト名の各部分の最大ラベル長：63 文字）。
- **single-connection** : （オプション）デバイスが通信のたびにデーモンへの TCP 接続をオープンおよびクローズするのではなく、デバイスとデーモンの間で単一のオープンされた接続を維持することを指定します。
- **port port-number** : （オプション）TACACS サーバの TCP ポート番号を指定します。ポート番号を 0 にすると、そのホストは認証に使用されません。（範囲：0～65535）
- **timeout timeout** : （オプション）タイムアウト値を秒単位で指定します。（範囲：1～30）
- **key key-string** : （オプション）デバイスと TACACS+ サーバ間のすべての TACACS+ 通信用の認証および暗号キーを指定します。キーは TACACS+ デーモンで使用する暗号に一致している必要があります。空の文字列を指定するには、"" と入力します。（長さ：0～128 文字）。このパラメータを省略した場合は、グローバルに定義されたキーが使用されます。
- **key encrypted-key-string** : （オプション）**key-string** と同じですが、キーは暗号化形式です。
- **priority priority** : （オプション）TACACS+ サーバを使用する順序を指定します。0 が最も高い優先順位になります。（範囲：0～65535）

デフォルト設定

TACACS+ ホストは指定されません。

デフォルトの **port-number** は 1812 です。

timeout を指定しないと、グローバル値 (**tacacs-server timeout** コマンドで設定) が使用されます。

key-string を指定しないと、グローバル値 (**tacacs-server key** コマンドで設定) が使用されます。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

複数の **tacacs-server host** コマンドを使用して、複数のホストを指定できます。

例

次の例では、TACACS+ ホストを指定しています。

```
switchxxxxxx(config)# tacacs-server host 172.16.1.1
```

tacacs-server host source-interface

IPv4 TACACS+ サーバとの通信に IPv4 アドレスを送信元 IPv4 アドレスとして使用する送信元インターフェイスを指定するには、**tacacs-server host source-interface** グローバルコンフィギュレーションモードコマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

tacacs-server host source-interface *interface-id*

no tacacs-server host source-interface

パラメータ

- **interface-id** : 送信元インターフェイスを指定します。

デフォルト設定

送信元 IPv4 アドレスは、発信インターフェイスで定義され、ネクストホップ IPv4 サブネットに属する IPv4 アドレスです。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

送信元インターフェイスが発信インターフェイスの場合は、ネクストホップ IPv4 サブネットに属するインターフェイス IP アドレスが適用されます。

送信元インターフェイスが発信インターフェイスでない場合は、送信元インターフェイスで定義された最小 IPv4 アドレスが適用されます。

使用可能な IPv4 送信元アドレスがない場合は、IPv4 TACACS+ サーバと通信しようとする、SYSLOG メッセージが発行されます。

送信元インターフェイスとして OOB は定義できません。

例

次の例では、VLAN 10 を送信元インターフェイスとして設定します。

```
switchxxxxxx(config)# tacacs-server host source-interface vlan 100
```

tacacs-server host source-interface-ipv6

IPv6 TACACS+ サーバとの通信に IPv6 アドレスを送信元 IPv6 アドレスとして使用する送信元インターフェイスを指定するには、**tacacs-server host source-interface-ipv6** グローバルコンフィギュレーションモード コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

tacacs-server host source-interface-ipv6 *interface-id*

no tacacs-server host source-interface-ipv6

パラメータ

- *interface-id* : 送信元インターフェイスを指定します。

デフォルト設定

IPv6 送信元アドレスは、発信インターフェイスで定義された IPv6 アドレスであり、RFC6724 に従って選択されます。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーションモード

使用上のガイドライン

送信元インターフェイスが発信インターフェイスである場合は、送信元 IPv6 アドレスはインターフェイスで定義され、RFC 6724 に従って選択された IPv6 アドレスです。

送信元インターフェイスが発信インターフェイスでない場合は、送信元 IPv6 アドレスは送信元インターフェイス上で定義され、宛先 IPv6 アドレスの範囲と一致します。

使用できる IPv6 送信元アドレスがない場合は、IPv6 TACACS+ サーバとの通信を試行する際に SYSLOG メッセージが発行されます。

例

次の例では、VLAN 10 を送信元インターフェイスとして設定します。

```
switchxxxxxx(config)# tacacs-server host source-interface-ipv6 vlan 100
```

tacacs-server key

デバイスと TACACS+ デーモン間のすべての TACACS+ 通信に使用する認証暗号キーを設定するには、**tacacs-server key** グローバルコンフィギュレーションモードコマンドを使用します。キーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

tacacs-server key *key-string*

encrypted tacacs-server key *encrypted-key-string*

no tacacs-server key

パラメータ

- **key-string** : デバイスと TACACS+ サーバ間のすべての TACACS+ 通信に認証および暗号キーを指定します。キーは TACACS+ デーモンで使用する暗号に一致する必要があります。(長さ: 0 ~ 128 文字)
- **encrypted-key-string** : key-string と同じですが、キーは暗号化形式です。

デフォルト設定

デフォルトのキーは空の文字列です。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

例

次の例では、すべての TACACS+ サーバの認証キーとして Enterprise を設定しています。

```
switchxxxxxx(config)# tacacs-server key enterprise
```

tacacs-server timeout

デバイスが TACACS+ サーバの応答を待機する間隔を設定するには、**tacacs-server timeout** グローバルコンフィギュレーションモードコマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

tacacs-server timeout *timeout*

no tacacs-server timeout

パラメータ

- *timeout* : タイムアウト値を秒単位で指定します。(範囲 : 1 ~ 30)。

デフォルト設定

デフォルトのタイムアウト値は 5 秒です。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

例

次の例では、すべての TACACS+ サーバに対してタイムアウト値を 30 に設定しています。

```
switchxxxxxx(config)# tacacs-server timeout 30
```

show tacacs

TACACS+ サーバの設定および統計情報を表示するには、**show tacacs** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

```
show tacacs [ip-address]
```

パラメータ

- *ip-address* : TACACS+ サーバ名、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスを指定します。

デフォルト設定

ip-address を指定しない場合は、すべての TACACS+ サーバの情報が表示されます。

コマンドモード

特権 EXEC モード

例

次に、すべての TACACS+ サーバの設定および統計情報を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx# show tacacs
IP address Status Port Single Time Priority
Connection Out
-----
172.16.1.1 Connected 49 No Global 1
Global values
-----
Time Out: 3
Source IPv4 interface: vlan 120
Source IPv6 interface: vlan 10
```


show tacacs key

TACACS+ サーバの設定されたキーを表示するには、**show tacacs key** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

```
show tacacs key [ip-address]
```

パラメータ

- *ip-address* : TACACS+ サーバの名前または IP アドレスを指定します。

デフォルト設定

ip-address を指定しない場合は、すべての TACACS+ サーバの情報が表示されます。

コマンドモード

特権 EXEC モード

例

次の例では、すべての TACACS+ サーバの設定と統計情報を表示します。

switchxxxxxx# show tacacs key	
IP address ----- 172.16.1.1 172.16.1.2	Key (Encrypted) ----- 1238af77aaca17568f1298cced165fec 1238af77aaca17568f12988601fcabed
Global key (Encrypted) ----- 1238af77aaca17568f1298bc5476ddad	

show tacacs key

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。